

◇校訓 **思いやり**
 ◇教育目標 **しっかり学び考える
 おもいきり挑戦する
 みんなも自分も大切にする**
 ◇めざす学校の姿 **明日も行きたい 大好きな学校**
 ~安心できる場所があり、力を伸ばすことができる学校~



9月行事予定

- 1日(水) 平和の日記念式典 児童会委員会活動
- 2日(木) 職場体験(5年)
宿泊学習→延期
- 3日(金) 宿泊学習→延期
- 5日(日) ノーゲームデー
- 8日(水) クラブ活動
- 14日(火) 潮中インターンシップ
- 15日(水) 潮中インターンシップ
- 17日(金) 2年見学学習
- 20日(月) **敬老の日**
- 22日(水) 児童会委員会活動 1年見学学習 ALT
- 23日(木) **秋分の日**
- 24日(金) 体育帽持ち帰り
- 27日(月) 学芸会会場準備 拡大代表委員会
- 28日(火) 学芸会特別時間割開始
- 30日(木) 学芸会練習参観日



※緊急事態宣言が出され、様々な教育活動に制限がかかります。そのことで、行事などが延期・中止になることもありますので、わかりましたら、その都度お知らせいたします。

東京オリンピック

杉本浩一

東京オリンピックの夏が終わり、パラリンピックが開催されています。普段ならもう秋の気配を感じる頃ですが、今年はまだ暑さが続き、その熱気が続いているかのようです。そのオリンピックを見ていて、とても印象的だったのが、池江璃花子選手が白血病を乗り越え、400mメドレーリレーの決勝後に「一度は諦めかけた東京五輪だったが、また決勝で泳ぐことができた。すごい幸せだなんていうふうに思います」と語った姿でした。

病との闘いでは、「入院中、抗がん剤 治療で吐き気が強い時や倦怠感もありましたが、そんな時はとにかく「大丈夫、大丈夫、いつか終わる」と自分を励ましていました」と語っています。先の見えない不安と闘いながら、「たくさんの言葉に励まされ、最後まで頑張りたい、負けたくないという気持ちが込みあがってきます」とまわりの人々に励まされたことが力になったことを語っています。



池江選手の経験から「自分を励ます」「まわりの人々と何らかの関わりを持ち続ける」ことが、大切なことだと読み取れます。コロナ感染症のため緊急事態宣言が出されました。私たちも先の見えない不安と闘わなければなりません。この池江選手の経験から学び、コロナ感染症も「大丈夫、大丈夫、いつかは終わる」と自分を励まし、感染対策をしながら、できる範囲での関わりを増やしていくことが大切だと思いました。



二学期は、見通しの持てる活動づくりがテーマです。一人一人が見通しをもてるように学校としての取り組みを進めていきます。二学期もよろしくお願いたします。

クラブ活動に高校生が参加!

8月26日(木)のクラブ活動では、各クラブに稚内大谷高校の生徒と一緒に参加し、交流することができました。

小学生にとっては、普段は一緒に活動することがない人と一緒にクラブができたので、楽しく活動できたのはもちろん、高校生の力を身近に感じることができて、新鮮だったようです。

また、高校生にとっても、小学生との交流で、「高校ではあまり見ることがない姿を見せていた」と引率の教頭先生も話していました。

この交流で、お互いに交流のよさを実感できました。

今は、新型コロナウイルスの感染により様々な活動が制限されていますが、しっかり感染対策を行った上で、可能な限り交流を続けていきたいと考えています。

クラブの交流は、9月8日にも予定されています。

※各クラブの様子はホームページにも載せてあります。



家庭科クラブ



ソフトボールクラブ



室内遊びクラブ



サッカークラブ

緊急事態宣言に関わって

みなさんご存じの通り、北海道にも緊急事態宣言が出されました。

5月の時と同様に学校では、感染症対策を十分に行って上で、教育活動を実施していきませんが、活動にも制限がかかります。

- ①宿泊を伴う学習
- ②長時間・近距離でのグループ活動
- ③合唱や管楽器の演奏
- ④近距離での調理実習
- ⑤接触を伴う運動



などです。

これらについては、感染リスクが高いため、延期や縮小、中止の措置をとることになります。